

## 原著者及び婉子氏のプロフィール

一九二六年三月二三日生

一九四三年関東学院中学部（細野日記開始）。

一九四五年一月三十一日北海道帝大予科医類合格、六月恵

細野順三氏（旧姓）

迪寮。北海道帝國大学醫學部小兒科志望

一九四七年夏、琵琶湖・京都を旅し、婉子さんと推察

される写真が登場、この頃交際スタート。

一九四八年鶴川の散策、村野家訪問（日本女子大受験  
相談）。

一九四九年四月婉子さんと交流。

一九四九年八月村野婉子さんと婚約。

一九五三年三月北大卒業、同時に婉子さんと結婚、

国立相模原病院小兒科、国立小兒病院に勤務。

一九七五年村野医院を引き継ぎ地域医療に貢献。

二〇〇八年七月二十三日逝去。

現在、ご子息村野浩太郎氏により村野小兒科アレル  
ギー科医院（町田市野津田町一〇八三）として継承。

村野婉子氏



一九四二年三月横浜市間門国民学校卒業後、父村野廉一  
の仕事の関係で中国天津市天津松島日本高等女学校  
に入学。

一九四四年福岡県小倉市を経て東京府北多摩郡府中町に  
移住、東京都立第四高等女学校三年に編入。その傍  
ら東亜飛行機（株）に学徒動員された。

一九四六年四月日本女子大学校に入学、秘蔵のひとり娘と  
して大事に養育・教育された。

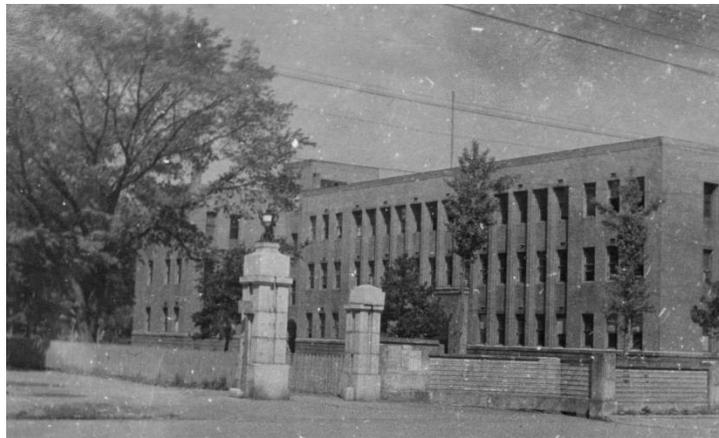
なお、父廉一は町田を代表する民権家・政治家（衆  
議院議員・貴族院議員）・実業家（横浜倉庫重役）村  
野常右衛門の長男で、満州医科大学卒業後、米コー  
ネル医大・ハーバード医大に留学、敗戦後東京都衛  
生局に勤務、都会議員・稲城病院長を歴任。



北の都 詩の街札幌 北1条通り



北の都 詩の街札幌 大通り公園



北大正門



農学部

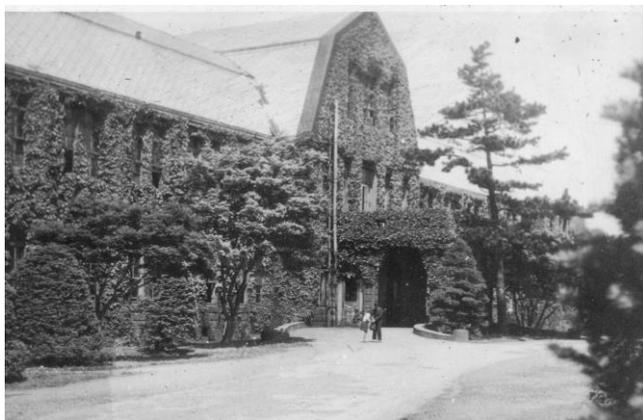
原著者在籍時の札幌および北大キャンパス写真



北大理学部



北大工学部・白亜の殿堂



北大病院外来入口



北大医学部講堂（左奥 附属病院）



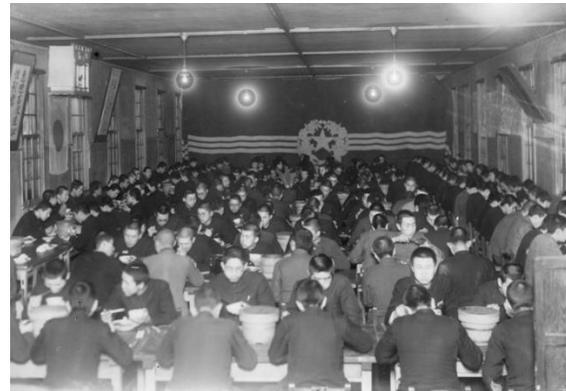
北大中央通り



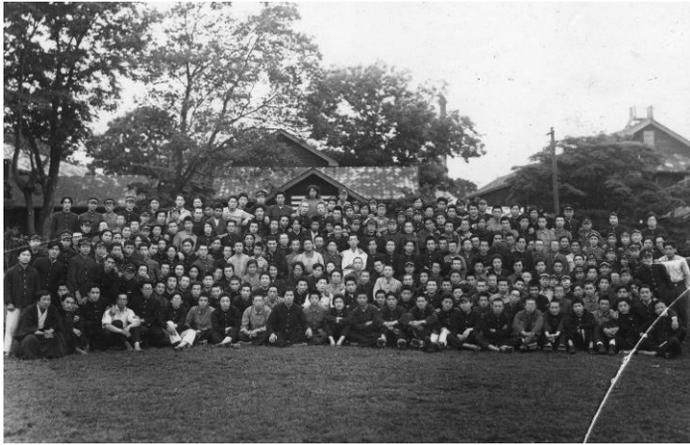
恵迪寮前景（新寮 開拓の村に保存）



ポプラ並木から観た農学部



恵迪寮中央食堂



北大予科恵迪寮全員



北大予科恵迪寮3年生



恵迪寮記念晩餐会（講師は植物学者宮部金吾博士）



恵迪寮執行委員会



第 137 期委員会 会計部



第 137 期委員会 細野会計部長 (左から 2 人目)



円山公園観桜会



円山公園観桜会



円山公園観桜会



円山公園観桜会



京大医学部進学 of 横田氏



朝倉・竹内両氏



今西・細野両氏



深沢・細野両氏



教育・宗教・科学界の大先輩内村鑑三博士



尊慕盡きぬ新渡戸稲造博士



解剖実習室（左から2人目細野氏）



解剖実習室（中央：細野氏）



医学部中庭（左から3人目細野氏）



医化学教室前



細野氏予科3年 北大ラグビー場



記念祭の紙芝居伝道



恵迪寮キリスト教恵水会 主要メンバー



相川・水無川ピクニック (1949年8月)  
最後列右細野 前から2列目右3人目婉子氏 (推定)



日曜学校中等部 (1949年6月)



日本キリスト者医科連盟総会(名古屋 1950年1月)



琴似教会収穫感謝祭 (1951年11月)



琴似教会



自由学校ハイキング



安孫子林檎園



安孫子家庭園（左 細川牧師）



琴似教会三好牧師



金子さん宅（札幌郊外琴似）



村野小児科アレルギー科医院（2024年現在、町田市野津田町 1083）